

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	1	選択
担当教員			
電気電子工学科教員			
添付ファイル			

講義概要	卒業研究を始めるにあたって必要な基礎知識を身に付ける。
授業計画	1 各卒業研究のグループに分かれて、卒業研究担当の教員が実施する。このため、セミナーの進め方やテキストは、卒業研究の担当教員によって異なる。卒業研究のテーマに関連して決められることが多い。AL①は14回以上、AL②③は7回以上、AL④は3回以上実施する。
授業形態	輪読が主である。割り当てられた分担を、自らが発表する。 アクティブラーニング：①:14回, ②:7回, ③:7回, ④:3回, ⑤:0回, ⑥:0回
達成目標	卒業研究を進めていく上で必要とされる文献の解読ができる。
評価方法・フィードバック	課題に対する成果、発表状況、理解度などを総合的に評価する。原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内やWEB等を通じて行うが、具体的な方法・タイミングなどは指導教員より都度伝える。
評価基準	1) 合格：卒業研究に必要な基礎知識を身に付けたと認められる者 2) 不合格：卒業研究に必要な基礎知識を身に付けたと認められない者
教科書・参考書	各卒業研究のグループに分かれて、卒業研究担当の教員が実施する。このため、テキストは、卒業研究のテーマに関連して決められることが多い。
履修条件	なし
履修上の注意	予習、復習が重要である。必要事項は自ら調査し、その内容を他の学生に理解してもらえよう工夫し、発表する。発表に対しては、積極的に質疑、討論を交わすこと。
準備学習と課題の内容	1.5時間以上の予習と、1.5時間以上の復習が必要である。
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	知識・理解：20%，思考・判断：20%，関心・意欲：20%，技能・表現：20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	